



車輪梅

<鹿島中学校 学校だより>

【平成28年12月号③】

いよいよ寒さが本格的となり冬の到来です 《重点目標》 『夢の実現に向けて、主体的に行動できる生徒』

今年も残すところ、あと2週間になりました。学校では、今年度の学校経営の反省を始める時期となりました。まずは、保護者の皆様に学校評価のアンケートをお願いすることになります。詳細は、後日お知らせいたしますので、どうぞよろしくご協力をお願いいたします。

【真剣で、緊張感のある避難訓練】

～立派な行動でした！～

12月14日（水）肌寒い中、生徒たちへは詳しい模擬避難の内容を知らせず、突然の避難訓練を実施しました。想定された訓練でなく、より実践に近い形での訓練です。実際の大津波を想定すれば、近隣で1番高い「桜平山」への避難が大事です。今回は、初動の避難（1回目）は大地震を想定し、校舎外の校庭へ（今回雨天のため、体育館）への避難でした。さらに、市内の放送により、津波警報が発令されたことを想定し、屋上（今回雨天のため、3階の教室と廊下へと全ての生徒が避難）への避難を実施しました。それぞれの訓練に対する生徒の行動について、消防署の署員様よりお褒めの言葉を頂戴する内容でした。

◆校長の話の概要は次の通りです。

- ① 静寂の中で、話を聴く待機ができたこと。真剣に、しかもほとんど私語がなく行動できたこと。など素晴らしい避難訓練であったこと。
- ② 最終的には、それぞれの判断で避難することになる。学校においては、先生方の指示により2次被害を防ぐために、集団で安全な行動をとること。
- ③ 聴くことの重要性を伝えました。
1つは、情報の収集のために、もう一つは、正確で迅速な指示を受けるため。

■南相馬消防署鹿島分署長の飯杉さんより、次のようなご指導を頂戴しました。

- ① 大地震が発生すると火災の発生率が高くなる。火災が発生したら、「知らせる・消火する・逃げる」が大切です。「学校の消火器の場所を3カ所分かる人は手を上げて？」の質問に、挙手した生徒は、非常に少なかったです。消火器のある場所を確認するようにご指導されました。
- ② 火災を発見したら、119番に知らせることと同時に、「火事ぶれ→火事だと周囲に伝える」ことの大切さをお話されました。
- ③ 靴ひもがほどけていると、それにつまづいたり、踏まれてころんだりするので、きちんと縛っておくようにとのご指導もありました。
- ④ 地震が発生したら、まずやることは、自分の命を守る行動を起こすことです。学校などでは机の下に体を入れるなどです。最近の地震は、大きな揺れが1回発生しても、油断せず危機感を持って行動してほしいとご説明されました。
- ⑤ 一般の電話が繋がりにくくなり、緊急の時は、公衆電話の利用が良いことをお話しされました。（災害の時、優先してつながりやすい。）
- ⑥ 明治時代に発生した三陸沖地震では、震度2～3にも関わらず、津波が発生しました。地震の大きさだけで判断せず、ゆっくり長く続く地震にも気をつけること。
- ⑦ 56年前のチリ地震では、1万7千km離れた国で発生した地震により、24時間かけて日本の太平洋岸にも津波が届いたので油断しないこと。
- ⑧ 東日本大地震で経験したいろいろなこと（見たり、聞いたりしたこと）を、生徒の皆さんが将来、おじいさんやおばあさんになっても、子供や孫に伝えてほしいこと。これが1つの防災になること。

★3年の阿部紗也さんが代表して（体を動かしての訓練の重要性や避難時の放送をしっかりと聴くことの大切さを含めて・・・）御礼の言葉を署員の方へ伝えました。



【いのち&性の学習】

1年生や2年生の各学級では、今月養護教諭の濱名先生による『いのちと性』の学習を行いました。生徒一人ひとりが、真剣に2時間の授業を受け、今後の生活や男女交際について考える機会となりました。今ある私たちの『いのち』は、奇跡的な誕生であり、いろんな人のつながりによってあること。その『いのち』を大切に生きていくことに深い意味があること。『いのちや性』ってどういうものなのかを考える時間になっております。